

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 76879/1982
(JP-U-57-76879)

What is claimed is:

A paint roller brush which comprises a tubular core member and an exchangeable brushing fabric, wherein the tubular core member is provided with a narrow guide projection (or protuberance) line having a triangle cross-section formed on the surface of the core member on the whole, the guide projection (or protuberance) line is continuously formed by spirally winding in one revolution from a base point at the left edge of the surface of the core member to a base point at the right edge of the surface of the core member, and a pressure-sensitive adhesive is applied to the inner surface of the cover member to be adhered to the surface of the core member by using the line as a guide, incidentally, a masking tape is tacked on the adhesive applied surface.

HIS PAGE BLANK (USPTO)

⑨ 日本国特許庁 (JP)
 ⑩ 公開実用新案公報 (U)

⑪ 實用新案出願公開
 昭57—76879

⑤Int. Cl.⁵
 B 05 C 17/02
 A 46 B 7/10

識別記号

庁内整理番号
 6766—4F
 7634—3B

⑬公開 昭和57年(1982)5月12日

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭刷毛布を取り換自在にし得る塗装ローラ刷毛

⑪実 願 昭55—155180
 ⑫出 願 昭55(1980)10月29日
 ⑬考 案 者 服部章平

愛知県海部郡甚目寺町西今宿字
 山伏2—85

⑭出 願 人 服部章平
 愛知県海部郡甚目寺町西今宿字
 山伏2—85

⑮実用新案登録請求の範囲

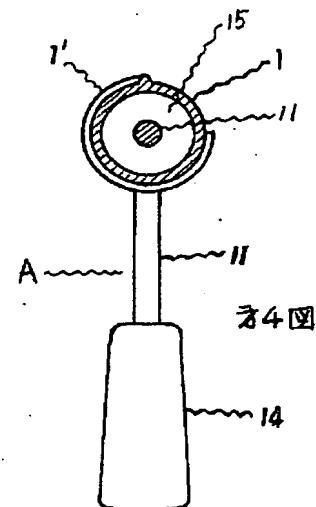
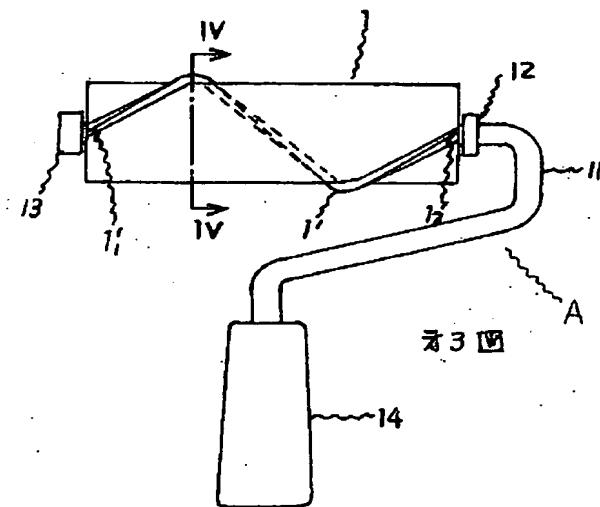
円筒基体の表面に、その表面の左端部基点から、軸方向同一線上に在る右端部基点までの間を、螺旋状に一回転させて、且、連続なるように、断面三角形状の細い案内突起筋部を一体に設け、該案内突起筋部を案内として、この円筒基体の表面に貼り付けるべき刷毛布の裏面部に、感圧粘着剤を塗布し、尚、その粘着剤塗装表面部に、保護テープを仮着させた、刷毛布を取り換自在にし得る塗装ローラ刷毛。

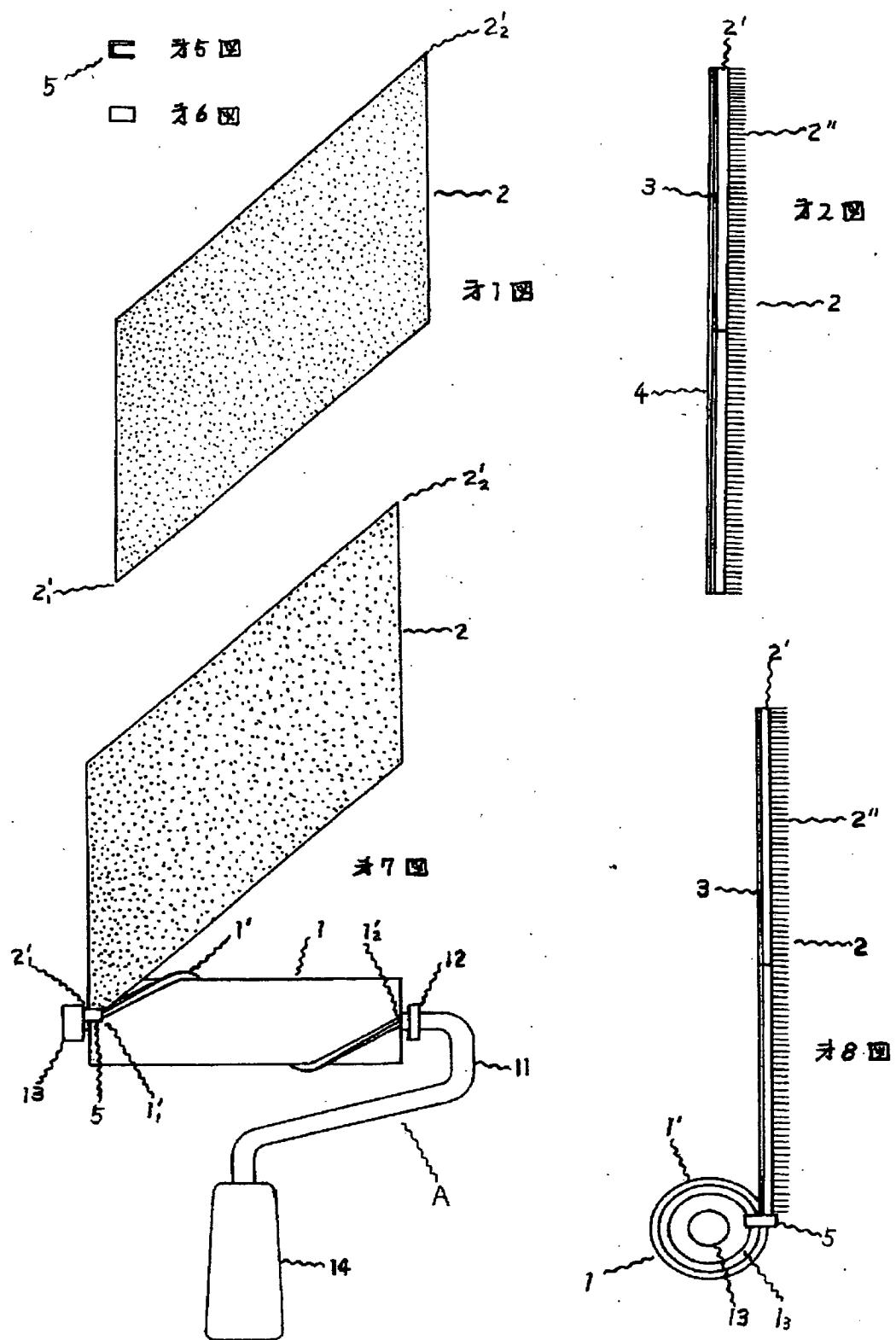
図面の簡単な説明

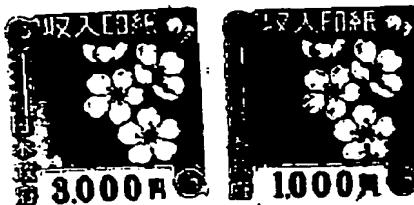
第1図は刷毛布の上面図、第2図はその側面図、第3図は刷毛本体の正面図、第4図はその側面図、

第5図は挿着金具の側面図、第6図はその下面図、第7図は刷毛布を円筒基体に貼り付ける手段を示す説明正面図、第8図はその説明側面図、第9図は刷毛布を円筒基体に貼り終つた状態を示す正面図、第10図はその側面図、第11図は第9図のVI—VI線における切断断面図。

A…刷毛本体、1…円筒基体、1'…案内突起筋部、1₁'…左端部突起基点、1₂'…右端部突起基点、1₃…左端周縁部、2…刷毛布、2'…植毛布、2''…毛材、2₁'…鋭角下端部、2₂'…鋭角上端部、3…感圧粘着剤、4…保護テープ、5…挿着金具、11…腕軸、12及13…止め輪、14…把柄、15…軸受。







記号なし

実用新案登録願 (4)

昭和55年10月29日

特許庁長官 島田春樹 殿

1. 考案の名称 フリガナ ハテフ トリカエジ ザイ ウトツウ ローラ 刷毛
 刷毛布を取換自在になし得る塗装ローラ刷毛

2. 考案者

フリガナ 住所 (居所)

フリガナ 氏名 実用新案登録出願人に同じ

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

4 9 0 - 1 1

フリガナ アイチケンアマグンジモクジヲウニシイマシユグアザヤマブシ
 住 所 (居所) 愛知県海部郡甚目寺町西今宿字山伏2-85フリガナ (法人にあっては名称) 服部 章平
 氏名 (および代表者の氏名) (国籍)

4. 代理人

郵便番号

□□□-□□

フリガナ 住所 (居所)

フリガナ 氏名

④

5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1	通
(2) 図面	1	通
(3) 願書副本	1	通
(4) ()	1	通



55 155160

76879

明細書

考案の名称 剛毛布を取換自在になし得る塗装ローラ剛毛

実用新案登録請求の範囲

円筒基体の表面に、その表面の左端部基点から、軸方向同一線上に在る右端部基点までの間を、螺旋状に一回転させて、且、連続なるよう、断面三角形状の細い案内突起筋部を一体に設け、該案内突起筋部を案内として、この円筒基体の表面に貼り付けるべき剛毛布の裏面に、感圧粘着剤を塗布し、尚、その粘着剤塗装表面に、保護テープを仮着させた、剛毛布を取換自在になし得る塗装ローラ剛毛。

考案の詳細な説明

本考案は塗装に使用するローラ剛毛において、円筒基体表面に貼り付けてある剛毛布を簡単に取付け、取外しが出来得るようにした塗装ローラ剛毛の改良に関するものである。

従来の塗装ローラ剛毛においては、剛毛布をローラ円筒基体の表面に貼り付ける際、時間が経

④

ては乾燥硬化する接着剤等を使用した、半永久的完全接着法を採用しておったので、若し刷毛布表面毛材部が摩耗損傷し、並換作業に耐えられなくなつた場合、刷毛布、円筒基体諸共に交換しなければならなかつた。

しかるに、ローラ刷毛総原価中に占める円筒基体関係費の率が相当に高く、それ故に、刷毛布と円筒基体を同時に交換しなければならない使用者にあつては、常に無駄な代価を先払つてゐた誤である。それに、未だ使用に耐え得る円筒基体を無為に廃棄することは、最近盛に呼囁されるようになつた資源愛護論にも逆行する所以となるものである。

本考案は、円筒基体は元のままの物を再使用し、刷毛布のみを貼り替えるだけで、新品同様の並換効果を発揮し得るようになつた、刷毛布を取換自在になし得る並換ローラ刷毛に係るものであり、その実施例を図面と共に説明する。

第1図及び第2図において、2は刷毛布である。そして2'は植毛布、2"は植毛布2'の表面部

に植毛された毛材、3は植毛布2'の裏面に並
挿された感圧粘着剤、4は並挿した粘着剤3の
裏面に接着させた保護テープである。

第3図及び第4図において、△はローラ刷毛
本体である。そして1は円筒基体で、輪軸11の周
りに、軸受15を介して、回転自在に保持されている。
円筒基体1の表面には、断面三角形状の案内突
起筋部1'が、円筒基体1の左端部突起基点1'_1より
螺旋状に螺行左廻り1回転して、右端部突起基
点1'_2に到達するよう一体に設けられている。
12及び18は止輪、14は把手である。第5図及び
第6図における5は、コノ字形をなす挿着金具
である。

次に、刷毛布2を円筒基体1の表面に貼り付ける
手段について述べれば、即ち、第7図及び第8
図は、円筒基体1の左端部突起基点1'_1に、予め保
護テープ4を剥がしておいた刷毛布2の鋸角下
端部2'_1を当てるが、手で圧下して裏面の粘着剤3
の粘着力により貼り付けられ、そして下端部2'_1
が容易に脱離しないよう、下端部2'_1と円筒基体

1の左端周縁部1₀とにまたがるように、挿着金具5で挿着した状態を示すものである。

そして、円筒基体1を手前側に回転させながら、刷毛布2を、突起筋部1'を案内として貼り付け作業を継行し、鋸角上端部2₂のところで貼り付け作業は終了し、下端部2₁の時と同じく挿着金具5で、この部を挿着した状態を示すものが第9回～第11回である。

そして刷毛布2の貼着終了後、手で刷毛布2を充分に押えておけば、粘着剤8の粘着力により簡単に脱剥することはない。

上記した如く、並装ローラ刷毛において、刷毛布を簡単に取換自在になし得ることで、ローラ円筒基体の連続使用が可能になるから、ローラ刷毛総原価中より、ローラ円筒基体開係費を差引くことが出来るので、使用者にはその分だけ安価をローラ刷毛を提供出来得るし、又、資源保護運動の激しい折柄、その趣旨にも寄与するのは勿論、更に又、刷毛布だけのものと、ローラ刷毛全体のものとでは、空間に占めるスペースに相当なる差

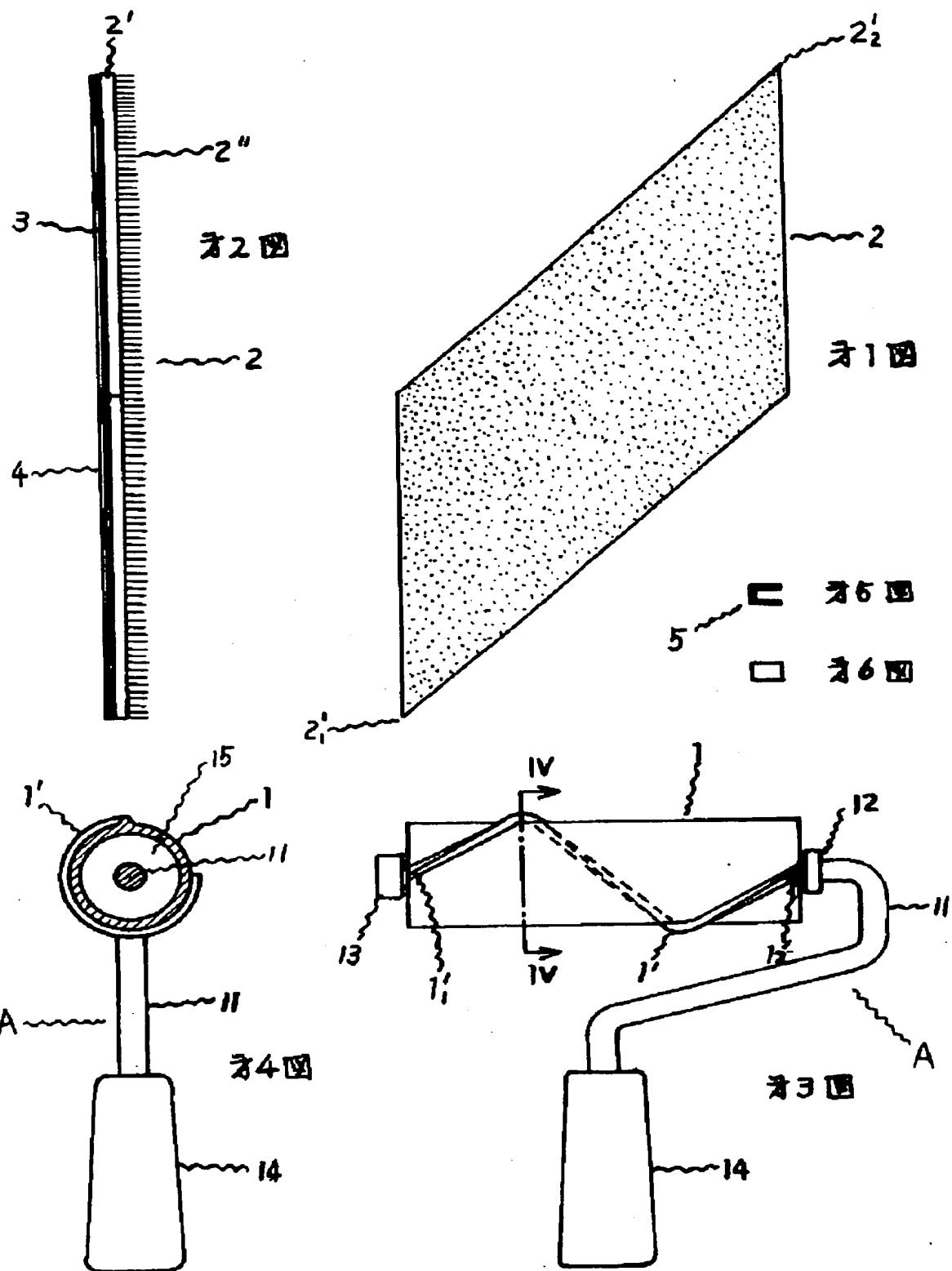
があり、従って輸送と店頭陳列の合理化が出来得る点等に新規なる効果と特徴を有するものである。

図面の簡単な説明

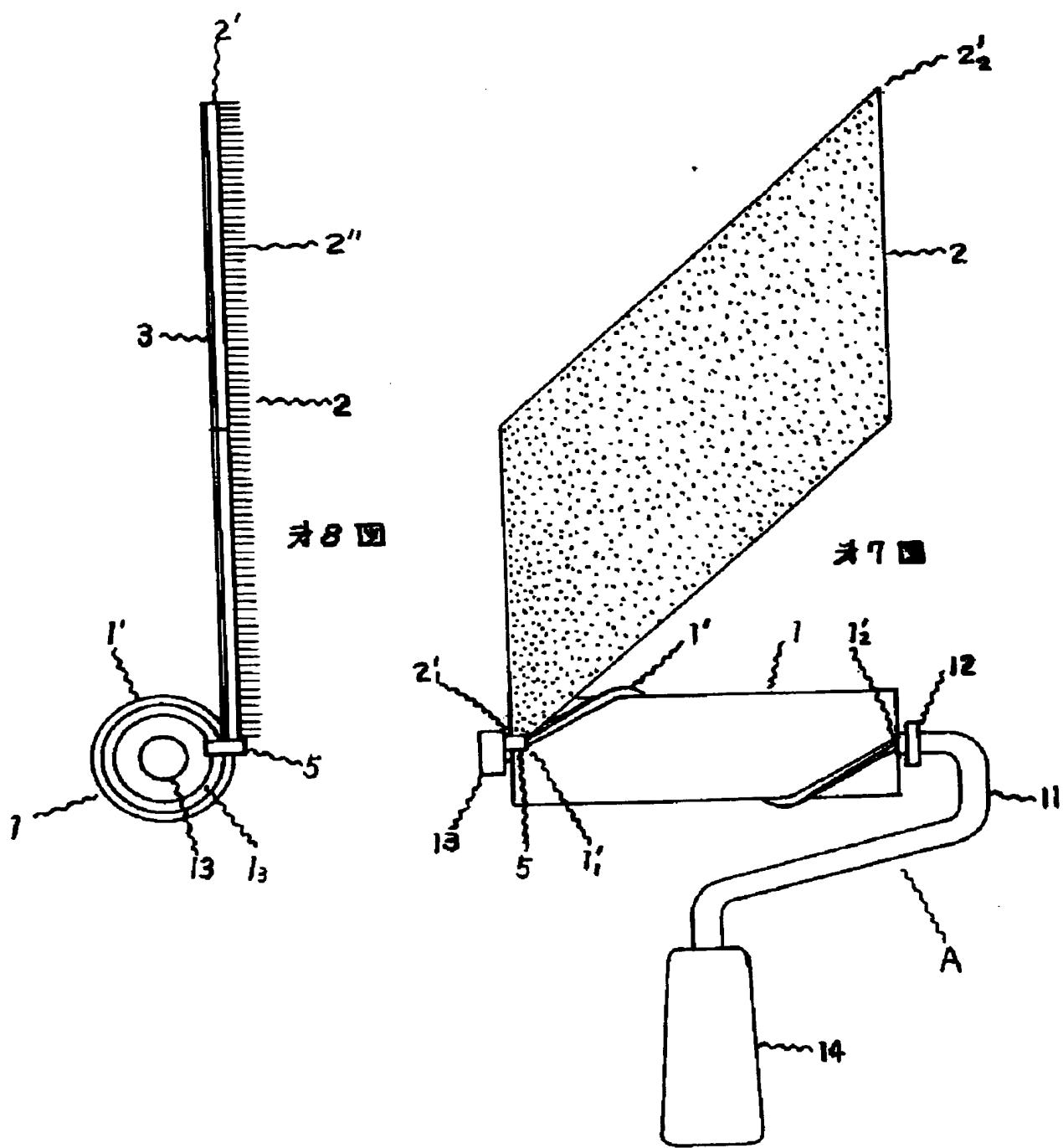
第1図は刷毛布の上面図、第2図はその側面図、第3図は刷毛本体の正面図、第4図はその側面図、第5図は挿着金具の側面図、第6図はその下面図、第7図は刷毛布を円筒基体に貼り付ける手段を示す説明正面図、第8図はその説明側面図、第9図は刷毛布を円筒基体に貼り落とした状態を示す正面図、第10図はその側面図、第11図は第9図のV1-V1線における切断断面図。

A…刷毛本体、1…円筒基体、1'…案内突起筋部、1₁…左端部突起基点、1₂…右端部突起基点、1₃…左端周縁部、2…刷毛布、2'…補毛布、2''…毛材、2₁…鋭角下端部、2₂…鋭角上端部、3…感圧粘着剤、4…保護テープ、5…挿着金具、11…腕軸、12及13…止め輪、14…把柄、15…軸受。

实用新案登録出願人 服部章平

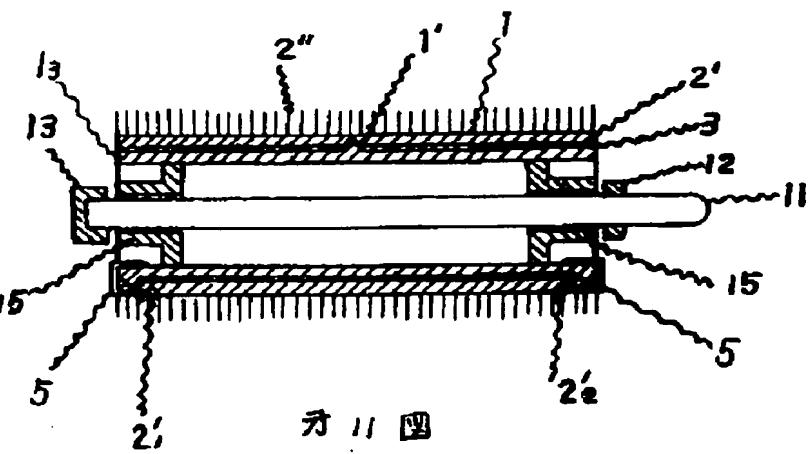
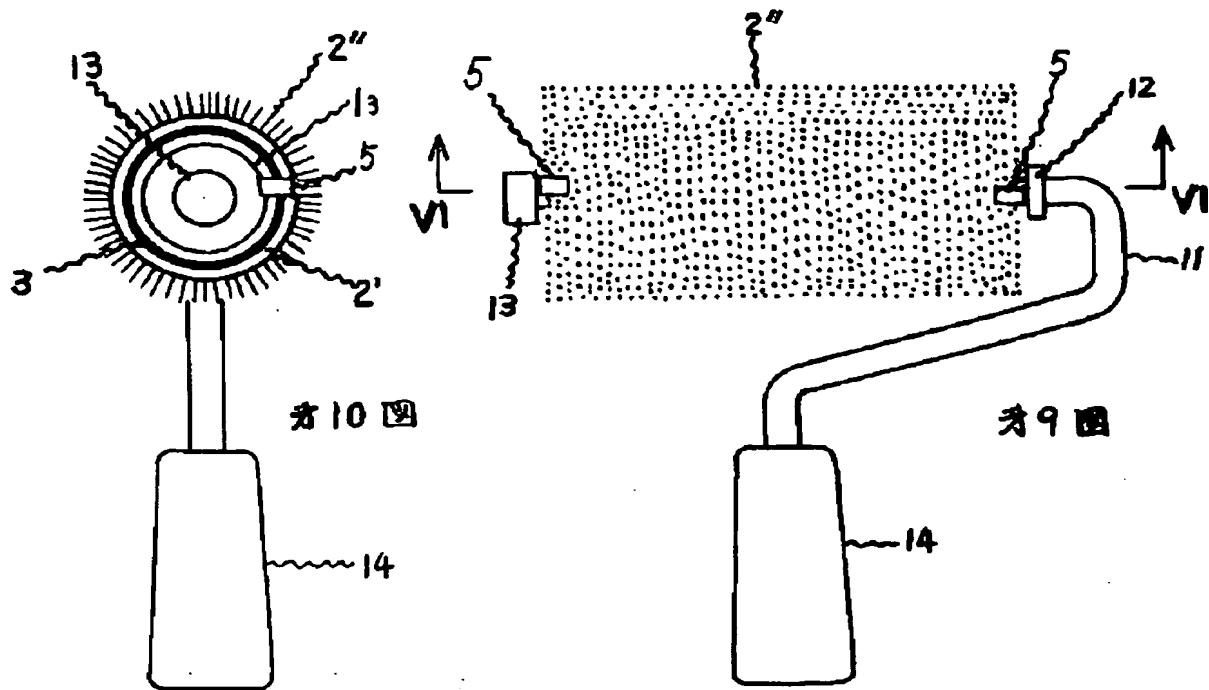


76879 / ³実用新案登録出願人 服部草平



75879 2
3

实用新案登録出願人 脳部章平



76879 2
3

実用新案登録出願人 服部章平

THIS PAGE BLANK (USPTO)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record.**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)